

「海の仕事と物流学習会」を開催しました

鳥取県の境港にはコンテナ船や木材チップ船など、地域の産業や私たちの生活に欠かせない様々な物資を国の内外から輸送する船舶が入港しており、そこに集積する海運業・物流業は国内の産業や多くの人々の生活を支えています。鳥取地方海の月間実行委員会（事務局：鳥取運輸支局境庁舎）では、この海運・物流と暮らしのつながりについて関心と理解を深めてもらうことを目的に、日吉津村立日吉津小学校5年生、境港市立上道小学校5年生を対象に、11月27日（金）と11月30日（月）、「海の仕事と物流学習会」を開催しました。

今回の学習会では、座学と併せて、境夢みなとターミナル、王子物流(株)、境港海陸運送(株)、境港管理組合にご協力頂き、これらの施設を見学しました。海外からのクルーズ船が寄港できるターミナルや木材チップヤード、コンテナターミナルといった施設の見学や、運輸局の若手職員による出前講座によって、海の仕事や物流について学びました。

今回の学習会によって、境港が身近な港湾として果たしている役割を参加した生徒たちに知ってもらい、より深く考えてもらえるきっかけになればと思います。

